



PATIENT HANDBOOK

# 入院のしおり

入院される方へ

筑波大学附属病院  
University of Tsukuba Hospital

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1の1  
お問い合わせ [入退院センター] 029-853-3567  
[救急受付] 029-853-3110



筑波大学  
University of Tsukuba

PATIENT HANDBOOK

# 入院のしおり

入 院 さ れ る 方 へ

University of Tsukuba Hospital

筑波大学附属病院



<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp>



# 目次

## CONTENTS

Ⅰ 筑波大学附属病院の理念と基本方針	2
Ⅱ 教育・研究・地域連携	3
Ⅲ 入院のご連絡・手続きについて	5
Ⅳ 入院生活について	7
Ⅴ 入院中に守っていただきたいこと	10
Ⅵ 「医療安全」についての病院からのお願い	12
Ⅶ 患者相談について	15
Ⅷ 退院について	16
Ⅸ 利便施設について	19
Ⅹ 交通のご案内	24

# I 筑波大学附属病院の 理念と基本方針

## ◆ 理念 ◆

良質な医療を提供するとともに、優れた人材を育成し、医療の発展に貢献します。

## ◆ 基本方針 ◆

- 安全で質の高い医療を提供します。
- 医療の使命と責任を自覚し、豊かな人間性を有する優れた医療人を育成します。
- すべての職種が参画するチーム医療を推進し、地域社会との連携を図ります。
- 健康、医療に関わる知識の普及に努めます。
- 疾病の研究と先進的な医療技術の開発を通して、国際社会に貢献します。

## ◆ 医療を受ける人の権利 ◆

- 人として尊重された医療を受けることができます。
- 説明と情報提供を受けた上で、治療方針等を自らの意思で選択することができます。
- 他の医療機関の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
- 医療・福祉などの相談をすることができます。
- 教育実習や研究への協力を自由意思で決定することができます。
- 個人情報とプライバシーは適切に保護されます。
- 診療費の詳細を知ることができます。

## ◆ 医療を受ける人の義務 ◆

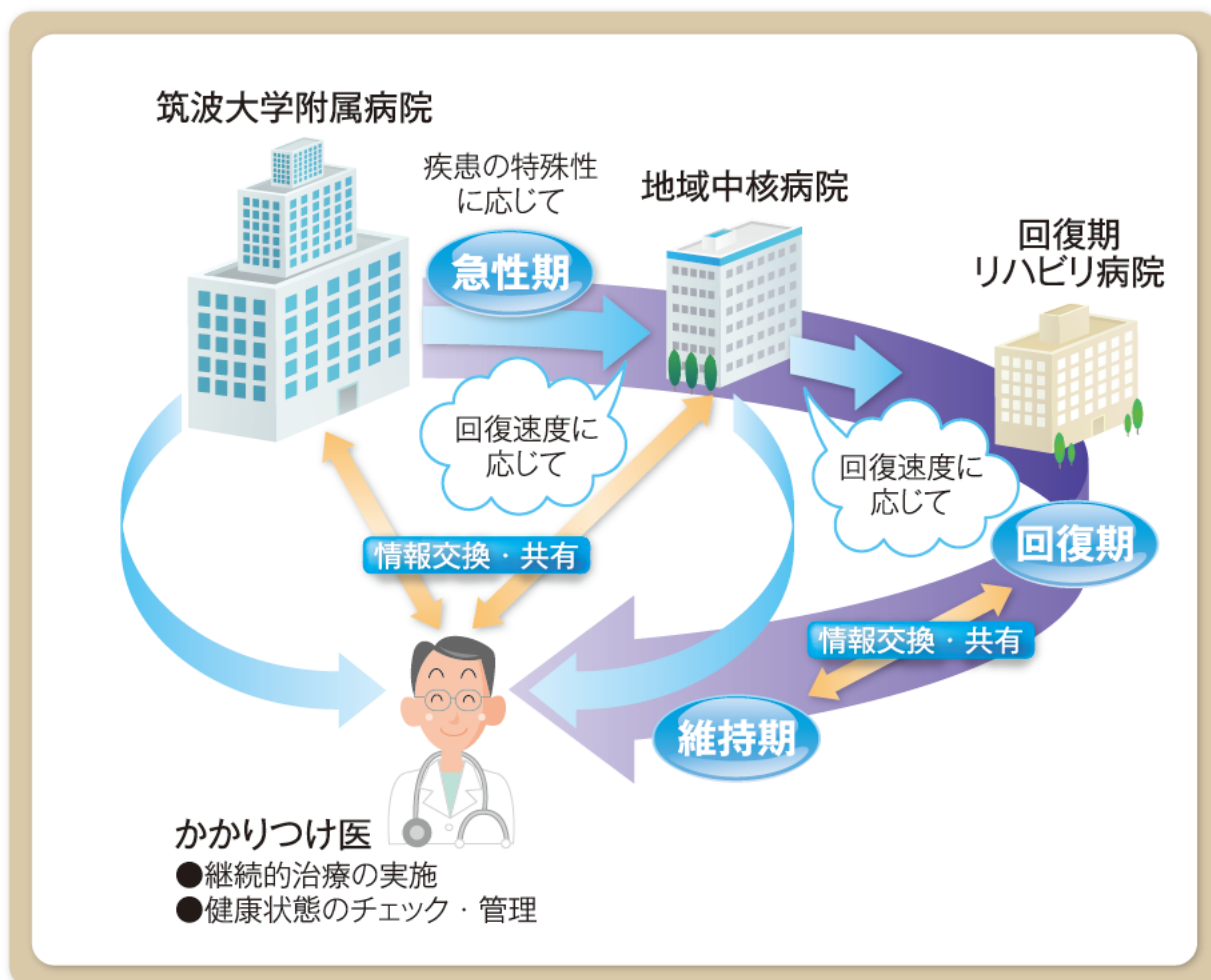
- ご自身の健康状態等に関する情報は、できる限り正確に提供してください。
- 本院のルールに従い、診療や管理運営に協力してください。
- 診療の支障となったり、他の方の迷惑となる行為は慎んでください。
- 受けた医療サービスに対する費用をお支払いください。

## Ⅱ 教育・研究・地域連携

本院は、特定機能病院の認定を受け、地域の基幹病院として高度かつ専門的な医療を中心的な役割として行っております。大学病院での専門的検査や治療が終わり、安定した経過観察や、日常の投薬につきましては、地域の医療機関に逆紹介させていただくことになります。質の高い医療を行うことを目的に、厚生労働省は医療機関の役割分担を進めています。医療機関のそれぞれが機能を生かして、患者さんに適切な医療を行うために「かかりつけ医」との連携を推進しています。そのため、病状が安定、回復しましたら、紹介元や近隣の医療施設に戻っていただくことになります。

また、健康診断等の施設ではありませんので、その場合には自治体や事業所の健康診断等をご受診ください。

退院や転院、療養に関してのご相談は、「医療連携患者相談センター」などの窓口等をご利用いただき、早期退院に対してのご理解とご協力をお願いします。



## 研修医・実習生の受け入れについて

本院は、教育・研修病院として医療専門職の教育や新しい医療の研究・開発を行っております。臨床研修病院として指導医のもとで研修医も診療をしています。ご理解とご協力のほどお願い致します。また、将来の医療を担っていく医学部、看護学部、薬学部などの学生の臨床実習も多く受け入れております。ご了解の上で臨床実習させていただきますが、ご不明な点やご不満などがございましたらご遠慮なくお申し出ください。

## 治験について

本院では、「治験」を行っております。「治験」とは、医薬品（薬剤）や医療機器などの製造販売に関して薬事法の法律のもと試験的に使用し、その効果や安全性を確立させることです。実施の際は、主治医や治験コーディネーターなどが説明を行い、ご理解・ご納得いただいた上で実施しております。治験について質問があれば、主治医や治験担当スタッフまでお尋ねください。

## 臨床研究について

本院は大学病院として新薬や治療法等の開発など臨床研究を行う施設でもあります。新薬等の治験や、治療法の比較などを行う臨床試験への参加をお願いすることもあります。その場合は、文書によりご説明しご同意をお願いします。一方、診療に伴い生じた試料（残余検体）や診療情報を、疾患研究や最適な医療を提供するために行う臨床研究に使用させていただくことがあります。その結果を公表する場合は、個人を特定できないように処理を行います。具体的な個々の研究内容は病院のホームページにてご案内しますので、もし、臨床研究への利用にご同意いただけない場合は、お申し出ください。

なお、教育や臨床研究への参加は自由意思で決定でき、お断りになられても治療上、不利益を受けることはありませんのでご安心ください。



# Ⅲ 入院のご連絡・ 手続きについて

## Ⅰ 入院のご連絡

入院は、原則として入院する前の週の金曜日にお電話でご連絡します。

## Ⅱ 入院日の流れ・手続きについて

### 1 入院の流れについて

#### 【小児病棟へ入院の場合】

感染症のチェックが必要となります。大人と違ってお子さんは、もともと免疫力が低いとされています。他の患者さんへの感染の拡大を防ぐために病棟にお入りになる前に「感染症チェック」を行っております。

### 2 入院生活での持ち物について

入院は、共同での生活になりますので、間違いを防ぐために必ず持ち物には油性のマジックでお名前を記入してください。

#### 入院手続きに必要なもの

入院当日は、下記のものをご準備ください。

- 診察券     保険証     入院保証書     各種医療受給者証
- 印鑑     母子手帳（15歳未満のみ）
- お薬手帳（お持ちであればご持参ください）
- 退院証明書（交付されていればご持参ください）

#### 入院生活に必要なもの

入院当日は、下記のものをご準備ください。

- 下着     洗面用具（ボディーソープ、シャンプー、リンス、歯ブラシ、歯磨き粉）     はし、スプーン等     コップ
- バスタオル（3枚程度）     タオル（3枚程度）
- パジャマ（2～3枚程度）※レンタルもあります
- 室内履き（すべりにくいもの）
- ティッシュペーパー     本など
- 必要時メガネ、補聴器、義歯等（ケースをご準備ください。）
- イヤホン（病室内ではイヤホンを使用させていただきますのでご準備ください）



### 3 衣類について

- 普段ご使用されているものをご持参ください。(衣類は前開きのものが便利です。) 下着も同様にご準備ください。
- パジャマは、ご自身でご用意していただく他、本院の病衣(有料)もご利用できます。日中はふだん着で過ごされても構いません。

### 4 清潔道具について

- 洗面、沐浴や入浴、清拭(体を拭く)時などに使用しますので、以下のものをご準備ください。バスタオル…3枚程度、フェイスタオル…3枚程度、ガーゼハンカチ(1歳前後の場合)…3枚程度
- ボディーソープや石鹸、シャンプー、歯みがき等
- くし、ブラシ、髪を結ぶものなど必要な方は、ご用意ください。
- ドライヤーは病棟に用意しております。ご利用の際は、病棟スタッフにお申し出ください。



### 5 食事について

- 箸、スプーン、フォーク、コップ(落としても割れないもの)をご準備ください。
- 配茶は行っておりません。

### 6 病院内での履物について

- 入院棟でお履きになる履物は、スリッパではなく、滑りにくい運動靴タイプなど安全で履きやすいものをご準備ください。むくみのある方などは、看護師にご相談ください。



### 7 その他

- ティッシュペーパー…1箱
- 汚れた着替えなどを入れるために袋等をご準備ください。
- 電気器具の持ち込みはご遠慮ください。

電気シェーバー、携帯電話(充電器を含む)の持ち込みは許可されています。  
スマートフォン、ノートパソコンは持ち込み使用は可能ですが、Wi-Fi(無線LAN)を利用したインターネット接続は、医療機器に重大な影響を及ぼすため禁止されています。有線LANによるインターネットやスマートフォンは掲示してある注意事項を熟読した上で指定された場所でご使用ください。  
その他、不明な点は入退院センターへご相談ください。

### 8 付き添いについて

- 原則として、付き添いの必要はありません。事情によりご家族の付添いを希望される場合は、医師または看護師にご相談ください。

#### お願い

保険証・各種医療受給者証は、入院後も毎月確認しますので、月初めになりましたら「入退院センター」へお持ちいただきますようお願いいたします。  
また、公費負担医療の申請手続きの方や、交通事故等の方の場合は、必ず「入退院センター」にお申し出くださるようお願いいたします。  
診療に支障がないようマニキュア・ジェルネイル等は落としてください。

# Ⅳ 入院生活について

入院後に受けられる検査や治療、手術について「入院診療計画書」や「クリニカルパス」などを用いてご説明いたします。検査や治療内容、看護の内容などについてご不明の点やご質問がありましたら、遠慮なく医師や看護師にお尋ねください。

## 1 入院中の看護体制について

本院では、患者さんの状態に応じて安全でよりよい看護サービスを提供できるよう、病棟によって看護師の配置人数を変えております。



## 2 入院中の1日の流れについて

6:00～8:00	<p><b>起床</b> 朝の検温（体温や、脈、血圧、体重など病状に合わせて測ります。） 採血（状況によって採血があるときがあります。） 朝の身支度</p>
8:00	<p><b>朝食</b> （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）</p>
9:00～12:00	<p><b>状況に合わせてお声かけします。</b> お薬のある方は、看護師がお薬をお持ちします。場合によっては自己管理をお願いすることもあります。 午前中の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）</p>
12:00	<p><b>昼食</b> （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）</p>
13:00～18:00	<p><b>状況に合わせてお声かけします。</b> お薬のある方は、看護師がお薬をお持ちします。場合によっては自己管理をお願いすることもあります。 昼の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）</p>
18:00	<p><b>夕食</b> （手術や検査がある場合や状況によってはお食事が出ない場合もあります。）</p>
19:00～21:00	<p><b>自由にお過ごしくください。</b> お薬のある方は、看護師がお薬をお持ちします。場合によっては自己管理をお願いすることもあります。 夜の検温（体温や、脈、血圧、体重など患者さんの状況に合わせて測ります。）</p>
21:00	<p><b>消灯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 沐浴や入浴、シャワーは日中に行います。</li> <li>● テレビはルールを決めて楽しみましょう。</li> </ul>




**患者さんの病状により変わることもありますが、  
おおよそその一日の流れです。**

### 3 病院でのお食事について

- 入院中のお食事は、担当医師の指示により、患者さんの病状や治療の状況または、体格に合わせ、治療食として適正に召し上がっていただけるように準備しております。食べにくい場合や食事の形態が合わないような場合は、医療スタッフにご相談ください。アレルギー等がある場合は、予め医療スタッフにお伝えください。
- 宅配（デリバリー）はお断りしています。ご遠慮ください。
- 食欲状況を把握するため、摂取量を記録していますので、ご家族の方は残りをお食べにならないようお願いいたします。
- 朝食はパンか米飯を選ぶことができます。（治療上、選択できない食事の種類もあります。）
- 食品の持ち込みは、食中毒や害虫の発生を防止する上からもご遠慮ください。ただし、治療上どうしても必要な場合はご相談に応じます。
- アレルギーや宗教上の理由から禁止食品がある場合には、お申し出ください。できる限り対応いたします。禁止食品の程度については、管理栄養士が聞き取りをさせていただきます。なお、嗜好上の理由のためだけでは対応をお断りさせていただく場合がありますのでご承知ください。
- 病院食の味付けは、化学調味料を極力使用せず、天然のだしやうま味を生かして調理をしています。塩分量は1日9g以下で調整しております。
- 患者さんのご都合により、食事を取り消しされたものについては、患者さんの負担となりますので、ご注意ください。

### 4 面会について

- 面会時間は、**午後2時～午後9時**です。（精神入院病棟は**午後6時まで**です。）
- 病状によっては、ご家族以外の方のご面会をお断りすることがあります。面会時は他の患者さんのご迷惑にならないよう、ご配慮願います。
- 病棟での飲食は、固くお断りいたします。
- ご面会の方は、病院正面玄関入口警備員室で、面会申込書をご記入していただき、面会証を着用のうえ、入院棟にお越しくください。面会証は、お帰りの際に警備員室へご返却ください。
- 感染予防のため、面会前に手洗いを十分に行ってください。12歳未満の方の病室内での面会はできません。面会をご希望する方は看護師にご相談ください。
- 面会についてのご質問・ご希望がありましたら看護師にお申し出ください。

### 5 入院中のご家族の駐車場について

入院患者さんのご家族の方へ患者さんお一人に対して、駐車場無料化カード1枚をお渡しいたします。ご帰宅時に警備員室（正面玄関脇）で、駐車券とともに無料化カードをご提出いただきますと、1日につき1回のみ無料化の処理をいたします。病院からのお願いで来ていただいた場合は、この限りではありません。

無料化カードは身体障害者専用駐車場では、利用できません。また、再発行はいたしませんので、紛失等、お取扱いにご注意ください。

入院される方ご本人による入院中の駐車場のご利用はご遠慮ください。

## 6 入院中のお部屋の移動について

- 病状の変化や手術・処置等により、お部屋を移動していただくことがあります。
- お部屋を移動の際は、患者さんと共に持ち物も全て移動していただきます。
- 移動する病棟（ICU / HCU など）によっては、持ち物を制限させていただく場合があります。不必要な持ち物は一旦ご自宅にお持ち帰りください。

病棟でお荷物のお預かりはしておりません。

- 特に貴重品に関してはご家族の方に管理していただいております。
- けやき棟 1 階売店横のコインロッカーもご利用になれます。

# V 入院中に守っていただきたいこと

入院は、だれにとっても不安で苦痛なことです。それでも検査・治療しなければならない状況があります。よりよい、入院生活を送るために、以下のことにご協力ください。

## 1 迷惑・危険行為の禁止

- マナーを守り節度ある行動をお願いします。特に携帯電話に係わるトラブルが増えておりますので、節度あるご使用をお願いします。多床室での通話をご遠慮ください。
- 病院の敷地内は全て禁煙（電子タバコを含む）となっております。ご了承ください。
- 売買行為や勧誘等は禁じております。
- 飲酒、暴力行為、大声、暴言または脅迫的言動等は固く禁じます。場合によっては直ちに、退院していただくこともあります。
- 消灯時間は午後9時です。消灯後はテレビ、パソコンの使用はご遠慮ください。また、大部屋では、テレビなどはイヤホンを使用し他の患者さんのご迷惑にならないように使用してください。
- 携帯電話は、掲示してある留意事項を熟読した上で指定された場所でご使用ください。また、インターネット設備は、特別室及びけやき棟の食堂・デイルーム（一部除く）に備わっています。（接続するパソコンは各自で持ち込んでください。）
- 院内における写真および動画の撮影はご遠慮ください。
- 電気器具の持ち込み等はご遠慮ください。
- 機器設備・建物設備等を重大な過失により破損した場合は、弁償していただくことがあります。



## 2 外出・外泊・他医療機関受診について

- 外出・外泊はやむを得ない事情がある場合に限り認められます。
- 外出・外泊をご希望の方は、必ず医療スタッフにご相談ください。無断での外出・外泊は禁止しております。病状によっては、希望しても外出・外泊ができない場合もありますので、事前にご相談ください。  
なお外泊は、原則1泊2日までとなっております。
- 保険診療の制度では、入院中は他の医療機関では診療費が算定できないため、他の病院を受診したり薬の処方（内服薬、目薬、湿布、点鼻薬、軟膏等）を本人又はご家族が代理で受け取ることはできません。やむを得ず他の医療機関を受診するようなことがございましたら医師、看護師等にお申し出ください。

### 3 防災・防犯について

- 入院時に病棟内の非常口等をご確認ください。
- 非常時には、医師・看護師・病院職員の指示に従って、落ち着いて行動してください。
- 非常時には、エレベーターは絶対に使用しないでください。
- 火災を発見した時、不審者を見かけた場合、また不審物がありましたら、すぐに医師・看護師・病院職員にお知らせください。
- 防犯の都合上、貴重品の持ち込みはご遠慮願います。病棟でお預かりはしていません。自己管理をお願いします。
- 入院中に病院専用の IC カードをご利用される方は、カード番号を必ずメモして保管してください。（盗難時重要となります）
- 入院中の持ち物等の紛失については、責任を負えませんので、有料ロッカーをご利用ください。
- 日中は防犯相談担当が院内巡視をしています。



# Ⅵ 「医療安全」についての 病院からのお願い

## 1 お願い

- 外来または入院の主治医が患者さんと合意した診療目標を達成するために、本院は誠実に努力いたしますので、診療にご協力ください。しかしながら現代の医学でも、病状や人の生死は必ずしも自由になるものではありません。また、強力な薬や検査・治療には一定の確率で副作用や合併症が生じますが、そのリスクを完全に回避することはできません。不幸にして、副作用や合併症で苦しむことになった場合でも、本院は、それを診断して治療します。その診療は健康保険を用いて行い、当該の診療費用を請求いたします。本院の診療に過失があった場合には、それに起因する診療費用は請求いたしません。さらに、身体損害が発生した場合には、その損害を補償いたします。ただし、それが本院の過失に起因するものでない部分は、この限りではありません。
- 診療を受ける際には、ご自身の健康状態に関する情報をできる限り正確に提供してください。情報が正確に提供されなかった場合、本院はその後の病状に関する責任を負えないことがあります。また、情報が正確に提供されなかった場合、患者さんに何らかの損害が生じても本院はその損害を補償できない場合があります。
- 本院で診療を受ける方は、説明と情報提供を受けたいうえで、診療方針等を自らの意思で選択することができます。
- 多数の方や救急患者への対応等のためにご迷惑をおかけすることがありますが、予めご容赦願います。お気づきの点がありましたら、近くのスタッフにお声を掛けてください。

## 2 人違いの防止

- 人違いを防止するため、氏名をフルネームで（差し支えなければ生年月日も）名乗って頂きますのでご協力ください。

## 3 ネームバンドの装着

- 入院中は必ずネームバンドを装着してください。ネームバンドは、点滴や輸血等を正しく行うために使います。入院中は外さないようにお願いします。

## 4 転倒・転落の防止

- 病気のためばかりでなく、環境の変化から、廊下で転倒する方、ベッドから転落する方がいらっしゃいます。これを防止するため、ご自身でも十分ご注意ください。スリッパではなく、靴などをはいてゆっくり移動してください。寝る時は必ずベッド柵を立てて就寝してください。

## 5 鎮静と身体拘束

- 検査や処置等の診察で、苦痛や不安を和らげるためや検査を正確に施行するために、鎮静が必要なことがあります。鎮静は医師が適切に行いますが、適切に行ったとしても使用する薬剤などの影響で窒息や呼吸停止の危険があります。また、身体に挿入された点滴などの大切な管を患者さんが無意識に抜いてしまうことがあり、このような場合重要な薬剤が途絶え血圧低下など有害事象を引き起こします。そこで、これらの大切な管の抜去を防ぐため、手足の動き等を制限する身体拘束を行う場合があります。

鎮静や身体拘束をする場合には、事前にご説明しますので納得できましたら、同意書に署名してください。

## 6 薬の自己管理

- 患者さんの薬の管理に関しましては、誤薬等のないよう注意を払っていますが、なるべく患者さんご自身でも、薬の自己管理を行っていただけますよう、ご協力をお願いします。

## 7 感染対策について

- 病院には高齢の方や乳幼児など免疫力の弱い方が大勢いらっしゃいます。院内感染対策にご協力ください。
- 病室への出入り時及びトイレの使用後は、手洗い場で手を洗うか、備え付けのアルコール製剤で手を消毒してください。
- 咳・くしゃみをする時は、ティッシュペーパーあるいはハンカチなどで口・鼻を覆ってください。使用したティッシュペーパーはすぐに捨て、その後よく手を洗ってください。咳・くしゃみが続く場合は、マスクを着用していただきますようお願いいたします。（各自ご用意ください。）
- 身近（家庭・職場・学校など）に次のような方がいた場合担当医師あるいは看護師にその旨をお伝えください。
  - ※3日以内に「38℃以上の発熱」「強い寒気・全身のだるさ」「下痢」「吐気・嘔吐」があった場合。
  - ※4週間以内に「広範囲の発疹・水疱」「耳周辺の腫れ」があった場合。
- 生花・鉢植えは持ち込まないでください。

マスク、手洗い  
等のご協力をお  
願います。





## 8 個人情報保護に関するお知らせ

- 本院では、安心して医療を受けていただくために、個人情報の保護についても取り組んでおります。
- 病室入口へのお名前の表示については、看護師から入院時に説明させていただき、了解を得た患者さんのみ表示させていただいております。

## 9 カルテ開示について

- カルテ開示は患者サービス課で対応いたします。開示希望や不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。

### 患者サービス課

TEL **029-853-3902**

受付時間 ▶ 月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝休日は除く)

## VII 患者相談について

本院は、患者さんやその家族の方からの疾病に関する医学的な質問、生活上及び入院上の不安など、様々な相談に対応する窓口（患者相談受付）を下記のとおり設置しております。

相談内容としては、医療福祉、在宅移行・転院調整・退院支援、がん、難病、看護、栄養、こころ、苦情、診療費、薬剤、カルテ開示、リハビリ及び医療の質と安全などに関するものです。

相談に当たりますとは、院内の各部門と密接に連携の上、実施します。

なお、病気や診療内容に関するご相談は、お受けできませんので受診の上、医師にご相談ください。



相談内容については秘密厳守はもとより、相談により不利益を受けることはありませんので、お気軽にご相談ください。

### 患者相談受付窓口

T E L ▶ 029-896-7134

相談日 ▶ 月曜日～金曜日（祝休日は除く）

受付時間 ▶ 8:30～17:00

設置場所 ▶ けやき棟1階11番窓口（入退院センターの隣）



なお、がんに関しては、

- がん患者就労支援相談〈予約制・無料〉  
社会保険労務士（外部契約）による相談  
相談日▶ 毎月第三木曜日  
相談時間▶ 13:00～16:00
- がん体験者によるピアサポート相談「筑波大学窓口」〈予約優先・無料〉  
がん体験者である仲間（ピアサポーター）による相談  
相談日▶ 毎月第一木曜日  
相談時間▶ 13:00～15:30

も行っていきます。

患者相談受付窓口におたずねくだされば、がん相談支援センターに取次ぎいたします。

# VIII 退院について

## 1 退院の手続きについて

- 会計の準備ができましたら請求書をお渡しますので、病室でお待ちください。
- 土日祝日等に退院される場合は、支払誓約書を記入し、後日のお支払いとなりますのでご了承ください。

## 2 入院費のお支払いについて

- 入院費は、毎月末で締め切り、翌月の10日頃に請求書をお渡しますので、記載された期日までにお支払いください。
- 入院費の概算額を知りたい場合は、「入退院センター」へお問い合わせください。
- 請求書と一緒に明細書が発行されます。不要な場合は「入退院センター」に申し出てください。
- 退院の際は、退院当日（土日祝日除く）にお支払いください。

支払時間：平日の午前8時30分～午後5時30分

救急受付は平日の午後5時30分～翌午前8時30分（土日祝日は終日）

支払場所：入退院センター 外来会計窓口⑩番 救急受付

（上記場所に自動支払機を設置しておりますのでご利用ください。）

支払方法：現金、クレジットカード、デビットカード

### ◆クレジットカードご利用の際の注意点

※暗証番号の入力が必要ですので、事前にご確認ください。

※利用限度額を事前にご確認ください。

※支払回数は、1回・2回・6回・12回・リボ払い・ボーナス一括払いが選択できます。

※ビザ・マスター・JCB・アメリカンエクスプレス・ダイナース・ニコス・UFJ・DC・ディスカバーカードがご利用できます。

### ◆デビットカードご利用の際の注意点

※暗証番号の入力が必要ですので、事前にご確認ください。

※事前に利用限度額、口座残額をご確認ください。



- 振込など、その他の支払方法をご希望の方は、「患者相談窓口」にお申し出ください。
- 保険証が変更になった場合は、必ず「入退院センター」にお申し出ください。お申し出がない場合には、全額自己負担になる場合があります。
- 入院費についてご不明な点がございましたら、お支払いの前に「入退院センター」までお問合わせください。
- 退院日に診療費の確定ができない等の理由により、退院後に追加の診療費を請求させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 3 各種診断書・証明書について

- 入院中または退院後に診断書や証明書が必要になった方は、けやき棟1階11番窓口でお申し込みください。ご本人以外（家族を含む）のお申し込みの際には、「診断書等に係わる申請・受取同意書」が必要となります。
- 書類作成には1か月程度の日数をいただいております。また、診断書・証明書の内容や証明期間により、さらにお時間を要する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点がございましたら、けやき棟1階11番の診断書担当窓口にご相談ください。

#### 診断書・証明書・書類等受付

受付窓口 ▶ 診断書受付

受付時間 ▶ 月曜日～金曜日 8:30～17:00（祝休日は除く）

### 4 限度額適用認定証について

病気で入院された場合は、経済的な負担が大きくなります。70歳未満の方の入院は、「健康保険限度額適用認定証」を提示することにより、一医療機関ごとの入院費用の窓口負担額が自己負担限度額までとなります。

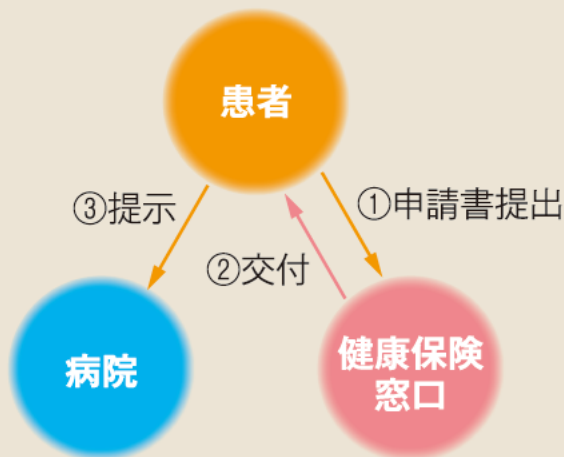
70歳以上の方は申請の必要はありません。

限度額適用認定証を申請しない場合、入院費用の負担額（3割及び2割負担に該当する額）を全額、一旦窓口で支払うことになり、数か月後に加入している保険者より、自己負担限度額を超えた金額について払い戻しされます。

また、平成24年4月診療分より、高額な外来受診の場合でも使用できるようになりました。

# 手続き方法

- ①加入している健康保険担当窓口にて、限度額適用認定証交付申請書を提出。
- ②交付
- ③交付されたら、健康保険証と一緒に入院時に入退院センターに提示。



## 医療費の自己負担限度額（同一月1か月あたり）

平成27年1月より

所得区分	対象者	自己負担限度額（月額）
ア	年収約1,160万円~の方	252,600円+(総医療費-842,000円)×1%+実費*
イ	年収約770~約1,160万円の方	167,400円+(総医療費-558,000円)×1%+実費*
ウ	年収約370~約770万円の方	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%+実費*
エ	~年収約370万円の方	57,600円+実費*
オ	住民税非課税の方	35,400円+実費*

例 総医療費が100万円…所得区分「ウ」の場合（3割負担で30万円）

80,100+(1,000,000-267,000)×1% **87,430円+実費\***

窓口負担額は、医療機関ごとに1か月につき、自己負担限度額までとなります。なお、**入院時食事療養の標準負担額や差額室料などは対象になりません。(実費)\***

限度額適用認定証に関する申請やご質問等については、現在加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、市町村（国民健康保険）、国保組合、共済組合までお問い合わせください。



## A棟3階

### 食堂

和食、洋食、中華など、健康に配慮した豊富なメニューでお待ちいたしております。広々とした空間は、車椅子の方やお子様連れの方も安心してご利用できますので、ゆったりとお過ごしてください。



営業時間 ▶ 平日・土・日及び祝日 7:30~20:00 年末年始 休業

## けやき棟1階

### サテライト 売店

#### コンビニ【ヤマザキ Y ショップ】

食料品の他、雑貨、新聞、雑誌等の販売を行っております。(オリジナルギフトの予約等も承っております。)

営業時間 ▶ 平日 7:00~18:00 土・日・祝日及び年末年始 休業

### オープン カフェ



#### タリーズコーヒー

スペシャルティコーヒーショップとして、どなたにもご満足いただける一杯を丁寧に手作りしてご提供しております。ゆったりくつろげる空間、そしておもてなしの心をこめて、お客様とのコミュニケーションを大切にします。お食事としてタリーズモーニング、パスタ、サンドイッチ、デニッシュ、スイーツなどもご用意しております。

営業時間 ▶ 平日 7:30~20:00 土・日・祝日・年末年始 7:30~19:00 **年中無休**

## けやき棟12階

### 展望ラウンジ

筑波山が眺望できる展望ラウンジを、8時30分から18時まで開放しており、どなたでもご利用いただけます。自販機コーナーを隣接している他、お昼時はワゴンサービスによるコーヒー・お弁当等の軽食販売も行っております。

ご利用時間 ▶ 8:30~18:00

※イベント等によりご利用いただけない場合がございます。

### ワゴン サービス

タリーズからは、コーヒーやクッキー等を販売いたします。

営業時間 ▶ 平日 12:00~15:00 土・日・祝日及び年末年始 休業

売店から、お弁当、おにぎり、パン等を販売いたします。

営業時間 ▶ 平日 11:30~13:00 土・日・祝日及び年末年始 休業



















